The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	パスカル生誕401周年記念シンポジウムの記録
Author(s)	山上, 浩嗣
Citation	Gallia. 2025, 64, p. 205-205
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102162
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

パスカル生誕 401 周年記念シンポジウムの記録

以下に掲載する 3 本の論文は、下記のシンポジウムにおける口頭発表の原稿に加筆修正を施したものである（発表題目と論文題目が異なっている場合もある）。

Journée Pascal : 401e anniversaire

Laurent SUSINI（Sorbonne Université）, « Pascal et la rhétorique biblique »
Anne RÉGENT-SUSINI（Sorbonne nouvelle）, « Rhétorique et argumentation des *Provinciales* aux *Pensées* : rupture ou continuité ? »
Alain CANTILLON（Sorbonne nouvelle）, « Renouveler entièrement l'édition des *Pensées-de-Pascal* ; au nom de quelles raisons ? en vue de quels effets ? »

日時：2024 年 9 月 16 日 13:00-17:00
会場：大阪大学豊中キャンパス 文法経本館 2 階大会議室（ハイフレックス方式）
司会：山上浩嗣（大阪大学）、鈴木真太朗（盛岡大学）、川上紘史（奈良女子大学）
主催：大阪大学フランス文学研究室、共催：文芸事象の歴史研究会、後援：日仏哲学会。
開催協力：
「文学研究の方法と作家像の相関性に関する研究――パスカルの『プロヴァンシアル書簡』」（研究代表者：野呂康、JSPS 科研費 22K00450）、
「パスカルにおける説得術の多角的研究――科学と宗教の邂逅をめぐって」（研究代表者：鈴木真太朗、JSPS 科研費 24K16029）、
「パスカルとモンテーニュ――『パンセ』の人間学とその起源」（研究代表者：山上浩嗣、JSPS 科研費 21K00416）

上記関係各位、ならびに当日の参加者各位に厚く御礼申し上げる。

（山上浩嗣 記）